授業科目名	民法入門
授業科目名(英字)	Introduction to Civil Law
時間割	前期 火曜日 5 校時 J-3
対象年次及び学年	1年次
担当教員	林田 光弘
ナンバリングコード・水準	B1
ナンバリングコード・分野	JRS
ナンバリングコード・ディプロマ・ポリシー(DP)	bcx
ナンバリングコード・提供部局	J .
ナンバリングコード・対象学生	3
ナンバリングコード・特定プログラムとの対応	0
ナンバリングコード・授業形態	Lp
ナンバリングコード・単位数	2

関連授業科目	民法 I \sim IV、法文書作成 I \cdot II、発展的民事法
履修推奨科目	憲法入門、刑事法入門
学習時間	講義90分×15回+自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)
授業の概要	民法は、私たちの社会生活に関わる最も基本的な法律の一つであり、物を買う、アパートを借りる、交通事故の被害者(加害者)になる、結婚するなど、 行政書士、宅建士など)の主要な出題科目でもあり、これらの進路を希望する学生にとっても避けては通れない科目でもあります。その一方で、民法はポリーがたくさんあって苦手意識を持つ学生も多いです。この授業では、そのような重要だけれども難しい民法という法律について、基本的な概念や制度を説明し、
授業の目的	この授業は、民法に関する基本的な概念や制度について学ぶことで、民法の全体像を理解することを目的としています。また、2年次以降の専門科目(民
到達目標	受講者は、①民法に関する基礎的な知識を習得するとともに、②それを用いて社会的紛争を法的に分析・批判する能力を獲得し、③自らの考えを論理的 これらの能力は、ディプロマポリシー(DP)に掲げる「b:知識・理解/広範な人文・社会・自然に関する知識」、「c:問題解決・課題探求能力/21世紀
成績評価の方法	原則として期末試験(100%)により成績評価を行い、到達目標に掲げた①・②・③の到達度合を評価基準とします。 ただし場合によってはレポート課題などを課すこともあります。
成績評価の基準	成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀(90点以上100点まで)到達目標を極めて高い水準で達成している。 優(80点以上90点未満)到達目標を信い水準で達成している。 良(70点以上80点未満)到達目標を標準的な水準で達成している。 可(60点以上70点未満)到達目標を優し限の水準で達成している。 不可(60点未満)到達目標を達成している。 不可(60点未満)到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成しているい。 本授業の授業計画は以下のとおりです。ただし場合によって内容や説明の順序を変更する可能性があります。 【授業計画】 第1回 ガイダンス 第2回 契約とは 第3回 契約の有効性 第4回 契約の履行
	第6回 契約の履行確保 第7回 代理人による契約 第8回 売買以外の契約 第9回 所有権とは

授業計画並びに授業及び学習の方法	第10回 所有権の取得 第11回 不法行為 第12回 夫婦 第13回 親子と高齢者 第14回 相続 第15回 まとめ
	この授業は教員が作成する講義レジュメに基づき行います。 講義レジュメは事前にMoodleにて配布し、紙媒体での配布は行いません。受講に際しては講義レジュメのデータ又は各自で出力した紙媒体を忘れずに持参 教科書の購入は必須ではありませんが、何らかのテキストが手元にあると予習・復習に便益です。詳しくは初回授業の際に説明します。
	【授業の形式】 この授業は対面での実施を基本とします。 ただし状況により授業の全部または一部を遠隔に変更する可能性があります。
	【自学自習のアドバイス】 この授業では各回の終了時に次回取り上げる内容についてアナウンスします。そこで当該内容に関するテキストを事前に読み、ある程度理解しておいてください また各回の授業終了後にはその回の授業内容を振り返り、自分の頭の中で再現してみてください。またレジュメおよびテキストの該当箇所を再読してください(
教科書·参考書等	特定の教科書は指定しません。予習・復習に用いる参考書については第1回のガイダンスで説明します。 講義レジュメはMoodleにてデータを配布し、紙媒体での配布は行いません。
オフィスアワー	担当教員のオフィスアワーは以下のとおりです。 曜日と時間:前期は金曜12時〜13時、後期は木曜12時〜13時 場所:林田研究室(幸町南6号館3階) 備考:事前にメールで用件と日時を教えて頂けるとスムーズに対応できます。また授業の前後や上記以外の曜日・校時でも可能な限り対応します。
履修上の注意・担当教員からのメッセージ	この授業の履修や授業内容について質問がある場合、下記アドレスにメールしてください。
参照ホームページ	
メールアドレス	hayashida.mitsuhiro@kagawa-u.ac.jp
教員の実務経験との関連	